令和9年度入学者向け
京都工芸繊維大学
3 年 次 編 入 学
学 生 募 集 要 項

Kyoto Institute of Technology, **2027**

〔 推 薦 ／ 一 般 〕

工芸科学部

応用生物学域 ――― 応用生物学課程

物質・材料科学域 ――― 応用化学課程

設計工学域 ――― 電子システム工学課程
情報工学課程
機械工学課程

デザイン科学域 ――― デザイン・建築学課程

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

目　次

Ⅰ．推薦選抜

３年次編入学（推薦）について …… 1
１．募集人員 …… 1
２．出願資格 …… 1
３．出願手続（インターネット出願） …… 2
　●出願についての注意 …… 4
４．アドミッションポリシー …… 5
５．入学者選抜方法 …… 6
　●受験についての注意 …… 6
６．合格者発表 …… 6
７．入学手続 …… 6

Ⅱ．一般選抜

３年次編入学（一般）について …… 7
１．募集人員 …… 7
２．出願資格 …… 8
３．出願手続（インターネット出願） …… 8
　●出願についての注意 …… 11
４．アドミッションポリシー …… 12
５．入学者選抜方法 …… 13
　●受験についての注意 …… 14
６．合格者発表 …… 14
７．入学手続 …… 14
８．欠員補充（追加合格）…… 15

Ⅲ．共通事項

１．入学に要する諸経費 …… 16
２．編入学後の単位認定について …… 16
３．取得できる資格等 …… 16
４．入学料及び授業料の免除 …… 16
５．奨学金制度 …… 18
６．アルバイト紹介 …… 18
７．学習用ノートパソコンの必携について …… 18
８．住まい …… 18
９．学部・学域・課程紹介…… 19
10．地域創生 Tech Program について …… 19
11．過去の３年次編入学試験実施状況 …… 20

■　出願様式
　推薦選抜：推薦書
　一般選抜：履歴書（外国人留学生及び外国の学校出身者のみ）
　※編入学願書、受験票、宛名ラベル（大学送付用）の様式見本は別途掲載します。

■　試験場（京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス）への案内

令和８年４月 20 日

【重要】令和９年度３年次編入学学生募集要項における記載内容の訂正とお詫び（追加）

令和８年２月 27 日に公表しました令和９年度３年次編入学学生募集要項について、令和８年３月 31 日に「令和９年度３年次編入学学生募集要項における記載内容の訂正とお詫び（正誤表）」を掲載いたしましたが、新たに次の２点（合計３ヶ所）を追記・訂正いたします。

・３年次編入学（一般）に出願する方で、８ページ「２．出願資格　G」に該当する方は、出願時に追加の証明書の提出が必要となります。
・３年次編入学（推薦）および３年次編入学（一般）の「３．出願手続（インターネット出願）●出願についての注意」において、入学時の在留資格を訂正いたします。

なお、追記訂正箇所は、赤字で記載しております。
度重なる記載内容の訂正により、多大なるご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

【追記箇所】

９ページ　３年次編入学（一般）３．出願手続（インターネット出願）

⑴　出願書類

④　出願資格の区分に従って、次の証明書等を提出してください。
※英語以外の外国語で作成されている場合は、日本語又は英語訳を添付してください。科目名や成績評価が符号や略号で表されている場合は、その説明書を日本語又は英語で作成して添付してください。

〇卒業証明書又は卒業見込証明書（該当者のみ）
出願資格Ａ、Ｂ、Ｆ又はＧに該当する人は提出してください。

〇学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書（該当者のみ）
出願資格Ｃに該当する人は、大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出してください。

〇履修中の科目名及び単位数を証明する書類（該当者のみ）
出願資格Ｄに該当する人で所定の単位数を修得見込の人は提出してください。出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等（単位数及び氏名が確認できるものに限る。コピー又は履修登録システム等から印刷したものでも可）でも構いません。
後期履修科目が未登録のため、履修中の科目だけでは所定の単位数に満たない場合は、上記に加えて、後期に履修予定の科目名と単位数を記した申立書（様式任意）と、科目名と単位数を確認できる書類（シラバスのコピー等）を併せて提出してください。

〇外国において日本の学士の学位と同等の学位の取得又は取得見込みであることを証明する書類（該当者のみ）
出願資格Ｅに該当する人は、提出してください。

〇専修学校専門課程に関する書類（該当者のみ）
出願資格Ｇのうち、専修学校の専門課程出身者に該当する人は、次の(ⅰ)及び(ⅱ)を提出してください。
（ⅰ）学校長が発行する、「修了（見込）課程の修業年限が２年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上であること」を記載した証明書又は専門士の称号付与（見込）証明書
（ⅱ）大学入学資格を有することを証明する書類（高等学校の卒業証明書等）

（次ページに続く）

【訂正箇所】
4 ページ　３年次編入学（推薦）３．出願手続（インターネット出願）●出願についての注意
11 ページ　３年次編入学（一般）３．出願手続（インターネット出願）●出願についての注意

変更前

⑤　外国人の方は、入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。
ア．出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）の別表第 1 に定める「留学」
イ．上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格

変更後

⑤　外国人の方は、入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。
ア．出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）の別表第 1 に定める「留学」
イ．上記の「留学」以外の在留資格で、大学入学に支障のない在留資格

令和８年３月 31 日

令和９年度３年次編入学学生募集要項における記載内容の訂正とお詫び（正誤表）

令和８年２月 27 日に公表しました令和９年度３年次編入学学生募集要項において、記載内容に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。
なお、訂正箇所は、赤字で記載しております。

【訂正箇所】8 ページ　３年次編入学（一般）２．出願資格Ｇ

変更前

２．出願資格

次のＡからＧのいずれかに該当する人で、**令和６年５月から令和８年４月までの間に TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験した人**に限ります。

A　高等専門学校又は短期大学を卒業した人及び令和９年３月 31 日までに卒業見込みの人
B　大学を卒業した人及び令和９年３月 31 日までに卒業見込みの人
C　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人及び令和９年３月 31 日までに授与される見込みの人
D　大学に２年以上在学（令和９年３月 31 日までに２年以上の在学となる人を含む。なお、休学期間は除く。）し、62 単位以上を修得（見込みを含む。）した人（ただし、出願時に属している大学において卒業要件に含まれない単位を除く。）
E　外国において日本の学士の学位と同等の学位を授与された人及び令和９年３月 31 日までに授与される見込みの人
F　外国において学校教育における 14 年以上の教育課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した人及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの人
G　専修学校の特定専門課程を修了した人及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの人

変更後

２．出願資格

次のＡからＧのいずれかに該当する人で、**令和６年５月から令和８年４月までの間に TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験した人**に限ります。

A　高等専門学校又は短期大学を卒業した人及び令和９年３月 31 日までに卒業見込みの人
B　大学を卒業した人及び令和９年３月 31 日までに卒業見込みの人
C　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人及び令和９年３月 31 日までに授与される見込みの人
D　大学に２年以上在学（令和９年３月 31 日までに２年以上の在学となる人を含む。なお、休学期間は除く。）し、62 単位以上を修得（見込みを含む。）した人（ただし、出願時に属している大学において卒業要件に含まれない単位を除く。）
E　外国において日本の学士の学位と同等の学位を授与された人及び令和９年３月 31 日までに授与される見込みの人
F　外国において学校教育における 14 年以上の教育課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した人及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの人
G　専修学校の特定専門課程を修了した人及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの人、並びに、学校教育法の一部を改正する法律（令和８年４月１日施行）の適用より前に、文部科学大臣の定める基準を満たす（※）専修学校の専門課程に入学し、修了した人及び令和９年３月 31 日までに修了見込みの人（ただし、学校教育法第 90 条第１項に規定する大学入学資格を有する人に限る）
※修業年限が２年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上である専修学校専門課程

令和９年度
京都工芸繊維大学 ３年次編入学
学生募集要項

Ⅰ．推薦選抜

３年次編入学（推薦）について

３年次編入学（推薦）は、高等専門学校の卒業者を３年次に受入れ、主として専門教育を行う制度です。

１．募集人員

学　域	課　程	募　集　人　員	
		一般プログラム	地域創生 Tech Program
応用生物学域	応用生物学課程	若干名	若干名
物質・材料科学域	応用化学課程	若干名	若干名
設計工学域	電子システム工学課程	若干名	若干名
	情報工学課程	若干名	若干名
	機械工学課程	若干名	若干名
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	若干名	若干名

注１．インターネット出願システム登録後は、志望課程の変更はできません。また、インターネット出願システム登録後に一般プログラムと地域創生 Tech Program を変更することもできません。

注２．推薦選抜の募集人員（若干名）は、各学域の一般選抜の募集人員に含まれます。

注３．応用化学課程では、出願時に４つのコース（https://www.applchem.kit.ac.jp/ を参照）から志望するコースを**２つ選択して、第１志望と第２志望を決めてください。**各コースは３名を合格者数の上限の目安とします。選抜の結果、第２志望のコースで合格することもあります。インターネット出願システム登録後は、志望するコースを変更することはできません。また、志望したコース以外のコースで合格することはありません。

注４．デザイン・建築学課程では、入学時に志望するコースを聴取します。基本的に希望したコース以外のコースに配属されることはありません。

２．出願資格

次のＡからＤのすべてに該当する人

Ａ　高等専門学校において、出願しようとする課程と関連のある学科等を、令和 9 年 3 月 31 日までに卒業見込みの人

Ｂ　高等専門学校における 3 学年及び 4 学年の成績席次が、ともに学科定員（※学科単位で成績席次を算出することが困難な場合は、学科に準ずるものの成績席次とする（以下、同じ））の 20%以内の人（ただし、高等学校から高等専門学校 4 学年に編入学した人は、4 学年の成績席次が学科定員の 20%以内とする）

Ｃ　人物及び学力とも優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる人

Ｄ　合格した場合は、入学を確約できる人。ただし、応用化学課程において、第２志望のコースで合格した場合は、その限りではない。

※に該当する場合は、事前に巻末問合せ先に相談ください。

（参考）主な関連学科

課　　程	関　　連　　学　　科
応　用　生　物　学　課　程	生物応用化学科、生物資源工学科　等
応　用　化　学　課　程	物質工学科、物質化学工学科、生物応用化学科、材料工学科　等
電子システム工学課程	電子工学科、電気工学科、電子制御工学科、電気情報工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、制御情報工学科、ものづくり工学科　等
情　報　工　学　課　程	情報工学科、電子情報工学科、電気情報工学科、制御情報工学科、経営情報学科、ものづくり工学科　等
機　械　工　学　課　程	機械工学科、機械システム工学科、材料工学科、電子機械工学科、機械電気工学科、ものづくり工学科　等
デザイン・建築学課程	環境都市工学科、建築学科、建設環境工学科、デザイン学科、都市環境デザイン工学科　等

３．出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続きを行ってください。

①については、本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。詳細は、3 ページ「⑵検定料」を参照してください。なお、検定料支払いが完了すると①編入学願書及び⑤宛名ラベルを印刷できるようになります。

編入学願書を印刷後、市販の封筒（角形 2 号が望ましい）に下記①、②、③及び授業料免除を希望する人は④を一括して封入のうえ、⑤を封筒に貼付し、郵便局で**「簡易書留・速達」**郵便の手続きをする等、配達の記録が残る方法により送付してください。**直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは受け付けません。必ず期間内に出願書類を郵送で提出してください。**

⑴ 出願書類

① 編入学願書（推薦）

インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の**写真（上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前 3 か月以内に撮影したもの）**をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（次ページ⑵参照）を行い、編入学願書（推薦）を印刷してください。

※同時に印刷される受験票については、試験当日に持参してください。郵送されても、返送しません。なお、誤って送付した場合又は紛失した場合は再度印刷してください。

② 推薦書

本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/undergraduate/type_3/　トップページ ＞ 入試情報 ＞ 学部入試 ＞ 入学試験日程・種類・募集要項【学部】＞ ３年次編入学試験）より様式（Word ファイル又は PDF ファイル）をダウンロードし、推薦学校長が作成、押印してください。なお、様式の右上に必ず受験番号（編入学願書右上の出願者の写真下に記載）を記入してください。

③ 調査書

文部科学省所定の様式又は文部科学省所定の様式に準じた各高等専門学校の様式により推薦学校長が作成し、厳封したものを提出してください。

④ 授業料免除申請書類（該当する希望者のみ）　→17 ページ参照

授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。なお、下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。

（ⅰ）私費外国人留学生

（ⅱ）出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定のある人も含まれます。）

⑤ 宛名ラベル（大学送付用）

インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルは、編入学願書等を郵送する封筒に貼付して、使用してください。

注１．出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び今後の入学者選抜に係る調査・研究にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

注２．入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人成績を提供します。

注３．３年次編入学試験（一般）と同時に出願（併願）が可能ですが、それぞれに出願書類、検定料が必要です。

⑵ 検定料

３０，０００円

支払方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

注１．国費外国人留学生で奨学金支給期間延長の申請予定者は、検定料の支払いは不要です。その場合、国費外国人留学生であることを証明する書類の提出が必要ですので、出願前に巻末問合せ先に申し出てください。

注２.出願期間の概ね１年以内に大規模な風水害等により被害を受けた人及び平成 23 年３月に発生した東日本大震災により被災した人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

⑶ 出願期間及び出願先

① 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）

「簡易書留・速達」郵便等、配達の記録が残る方法により送付し、次の期間に本学に届くことが必要です。

出願期間	**令和８年５月７日（木）から令和８年５月 13 日（水）（日本時間）**

ただし、出願期間最終日（令和８年５月 13 日（水））までの消印（日本国内）があるものについては受け付けます。なお、海外から出願を検討している人は、できるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

② 出願先

巻末書類提出先参照

⑷ 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、**令和８年４月 17 日（金）**まで

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。

なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者など）との面談等を行います。

③ 提出先

巻末問合せ先参照

※なお修学上の配慮については、事前にアクセシビリティコミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考 URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

⑸　出願状況の情報提供

出願状況については、出願期間終了後に学部入試最新情報ページ（巻末問合せ先参照）において公表します。

●　出願についての注意

①　次の場合は、出願書類を受理しません。

ア．インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

イ．出願書類がそろっていない場合

ウ．出願書類の記載が不完全な場合

エ．検定料が支払われていない場合（国費外国人留学生の場合は、国費外国人留学生であることを証明する書類が提出されていない場合）

②　インターネット出願システム登録後は、志望課程、プログラム及び応用化学課程においては志望するコースの変更を認めません。

③　出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

ア．検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合

イ．検定料を誤って二重に支払った場合

＊検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

④　出願書類に虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

⑤　外国人の方は、入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

ア．出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）の別表第 1 に定める「留学」

イ．上記の「留学」以外の在留資格で、大学入学に支障のない在留資格

4. アドミッションポリシー

学域	課　程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 ・生物、化学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・数学、物理学や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・高等専門学校における数学、情報工学の基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・専門能力を深めようとする意欲、好奇心
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・数学、物理学や英語などの基礎学力 ・論理的な思考・表現力、観察力、創造力、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学に関する幅広い理解力 ・ものづくりが好きで、自然に対する興味や旺盛な好奇心
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校長による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与えるとともに、専門科目に関する口述試問を含む面接試験や出願書類により求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシーに加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生 Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	各課程で行う面接試験に加え、地域創生 Tech Program 独自の面接試験を行い、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

５．入学者選抜方法

入学者の選抜は、面接により実施します。なお、面接では、出身学校からの推薦書及び調査書の内容を総合して評価を行います。

⑴　試験科目及び実施日時

課程	実施日	時間	科目（配点）
全課程	令和８年６月６日（土）	９：30～	面接（200）

※１．面接においては、専門科目に関する口述試問を含みます。
※２．デザイン・建築学課程の面接においては、これまで作成した建築やデザインにかかわる作品等がある場合には、その内容を説明してもらいますので、作品等の一部（写真や図面のコピーなど）を持参してください。そうした作品等がない場合には必要ありません。
※３．地域創生 Tech Program では、各課程の面接終了後に地域創生 Tech Program の面接（配点 100 点）を実施します。

⑵　試験場（巻末の試験場への案内参照）

京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地）

≪試験場来場にあたっての注意≫

試験場へは公共交通機関又は徒歩にて来場してください。公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮し、時間に余裕をもって、早めに移動することを心がけてください。

なお、試験場及びその周辺には駐車、駐輪できる場所はありません。また、自動車、バイク、自転車での来場は、受験生及び近隣住民、本学関係者の通行にかかる安全面への配慮から、保護者等による送迎も含め禁止します。

●　受験についての注意

① 「試験当日の注意事項」を、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）において、試験実施日の１週間前を目途に掲載します。受験生は必ず「試験当日の注意事項」を読んでその指示に従ってください。

② **試験当日は「令和 9 年度京都工芸繊維大学３年次編入学（推薦）受験票」をインターネット出願システムより印刷の上、持参**し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合又は忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。

③ 試験当日の集合時刻は、「試験当日の注意事項」でお知らせします。

④ 試験開始後、20 分以上遅刻して面接控室に到着した場合は、受験することができません。

⑤ 試験当日は「黒鉛筆又はシャープペンシル」と「消しゴム」を持参してください。その他、試験時間中に机の上に置けるものは、「試験当日の注意事項」において指示します。

⑥ 試験中は、受験票と監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。

⑦ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

⑧ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。

⑨ 携帯電話や音の出る機器は、面接控室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用することはできません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

６．合格者発表

令和 8 年 6 月 17 日（水）16 時（予定）に合格者の受験番号を本学ホームページ（巻末問合せ先参照）に掲載します。なお、合格者には合格を通知するとともに、入学手続に必要な事項を郵送及び電子データの送付により通知します。

また、個別の試験結果の照会には応じられません。

７．入学手続

合格者は、次の期間に入学手続を行ってください。期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとして取扱います。

なお、入学手続きに必要な書類については、郵送及び電子データの送付により通知します。

入学手続期間　令和 8 年 7 月 21 日（火）～令和 8 年 7 月 27 日（月）（17 時必着）

Ⅱ．一般選抜

３年次編入学（一般）について

３年次編入学（一般）は、短期大学や高等専門学校の卒業者、専修学校特定専門課程修了者、大学卒業者及び大学中途退学者、大学改革支援・学位授与機構による学士の学位取得者を 3 年次に受入れ、主として専門教育を行う制度です。

１．募集人員

学　域	課　程	募　集　人　員	
		一般プログラム	地域創生 Tech Program
応用生物学域	応用生物学課程	３	１
物質・材料科学域	応用化学課程	１２	１
設計工学域	電子システム工学課程	１７	２
	情報工学課程		
	機械工学課程		
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	１３	１
合　計		４５	５

注１．入学者の選抜は課程ごとに行います。
注２．インターネット出願システム登録後は、志望課程の変更はできません。また、インターネット出願システム登録後に一般プログラムと地域創生 Tech Program を変更することもできません。
注３．募集人員には、推薦選抜の募集人員「若干名」を含みます。（一般選抜の募集人員から、推薦選抜の合格者数を控除します。）
注４．選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。
注５．応用化学課程では、出願時に４つのコース（https://www.applchem.kit.ac.jp/ を参照）から志望するコースを必ず第 4 志望まで登録してください。（第 1 志望のみ、第 2 志望まで又は第 3 志望までとすることはできません。）なお、各コースは推薦選抜も含め 3 名程度を合格者数の目安とします。また、インターネット出願システム登録後、志望順位を変更することはできません。
選抜の結果、第 1 志望以外のコースで合格することがあります。その場合、合格したコースより上位で志望したコースで入学辞退者が生じた場合であっても、そのコースで追加合格となることはありません。
注６．デザイン・建築学課程では、入学時に志望するコースを聴取します。基本的に希望したコース以外のコースに配属されることはありません。
注７．地域創生 Tech Program の合格者が募集人員に満たない場合は、全ての学域において、その不足した人員を一般プログラムの募集人員にそれぞれ加えます。
注８．地域創生 Tech Program に所属する本学学生が、同一課程の一般プログラムに３年次編入学することはできません。

２．出願資格

次のＡからＧのいずれかに該当する人で、**令和６年５月から令和８年４月までの間にTOEIC Listening & Reading 公開テストを受験した人**に限ります。

Ａ　高等専門学校又は短期大学を卒業した人及び令和９年３月31日までに卒業見込みの人

Ｂ　大学を卒業した人及び令和９年３月31日までに卒業見込みの人

Ｃ　大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人及び令和９年３月31日までに授与される見込みの人

Ｄ　大学に２年以上在学（令和９年３月31日までに２年以上の在学となる人を含む。なお、休学期間は除く。）し、62単位以上を修得（見込みを含む。）した人（ただし、出願時に属している大学において卒業要件に含まれない単位を除く。）

Ｅ　外国において日本の学士の学位と同等の学位を授与された人及び令和９年３月31日までに授与される見込みの人

Ｆ　外国において学校教育における14年以上の教育課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人

Ｇ　専修学校の特定専門課程を修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人、並びに、学校教育法の一部を改正する法律（令和８年４月１日施行）の適用より前に、文部科学大臣の定める基準を満たす（※）専修学校の専門課程に入学し、修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人（ただし、学校教育法第90条第１項に規定する大学入学資格を有する人に限る）

※修業年限が２年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上である専修学校専門課程

３．出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続きを行ってください。

①については、本学のインターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM（ペイジー）より選択可能です。詳細は、10ページ「⑵検定料」を参照してください。なお、検定料支払いが完了すると①編入学願書及び⑦宛名ラベルを印刷できるようになります。

編入学願書を印刷後、市販の封筒（角形２号が望ましい）に下記①、②、③と④のうちから該当するもの、授業料免除を希望する人は⑤及び該当する人は⑥を一括して封入のうえ、⑦を封筒に貼付し、郵便局で**「簡易書留・速達」**郵便の手続きをする等、配達の記録が残る方法により送付してください。**直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは受け付けません。必ず期間内に出願書類を郵送で提出してください。**

⑴ 出願書類

①	編入学願書（一般） インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の**写真（上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前３か月以内に撮影したもの）**をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（10ページ⑵参照）を行い、編入学願書（一般）を印刷してください。 ※同時に印刷される受験票については、試験当日に持参してください。郵送されても、返送しません。なお、誤って送付した場合又は紛失した場合は再度印刷してください。
②	TOEIC Listening & Reading デジタル公式認定証をプリントした紙媒体 **令和６年５月から令和８年４月**までの間に受験した**TOEIC Listening & Reading デジタル公式認定証**（Digital Official Score Certificate）**をプリントした紙媒体**を提出してください（カレッジTOEIC 等の団体特別受験制度（IPテスト）によるスコア不可）。
③	成績証明書 出身大学（学部）長又は学校長が作成したものを提出してください。

④　出願資格の区分に従って、次の証明書等を提出してください。
※英語以外の外国語で作成されている場合は、日本語又は英語訳を添付してください。科目名や成績評価が符号や略号で表されている場合は、その説明書を日本語又は英語で作成して添付してください。
〇卒業証明書又は卒業見込証明書（該当者のみ）
出願資格Ａ、Ｂ、Ｆ又はＧに該当する人は提出してください。
〇学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書（該当者のみ）
出願資格Ｃに該当する人は、大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出してください。
〇履修中の科目名及び単位数を証明する書類（該当者のみ）
出願資格Ｄに該当する人で所定の単位数を修得見込の人は提出してください。出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等（単位数及び氏名が確認できるものに限る。コピー又は履修登録システム等から印刷したものでも可）でも構いません。
後期履修科目が未登録のため、履修中の科目だけでは所定の単位数に満たない場合は、上記に加えて、後期に履修予定の科目名と単位数を記した申立書（様式任意）と、科目名と単位数を確認できる書類（シラバスのコピー等）を併せて提出してください。
〇外国において日本の学士の学位と同等の学位の取得又は取得見込みであることを証明する書類（該当者のみ）
出願資格Ｅに該当する人は、提出してください。
〇専修学校専門課程に関する書類（該当者のみ）
出願資格Ｇのうち、専修学校の専門課程出身者に該当する人は、次の(ⅰ)及び(ⅱ)を提出してください。
（ⅰ）学校長が発行する、「修了（見込）課程の修業年限が 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上であること」を記載した証明書又は専門士の称号付与（見込）証明書
（ⅱ）大学入学資格を有することを証明する書類（高等学校の卒業証明書等）

⑤　授業料免除申請書類（該当する希望者のみ）　→17 ページ参照
授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。なお、下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。
（ⅰ)私費外国人留学生
（ⅱ)出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人(国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定のある人も含まれます。)

⑥　履歴書（CURRICULUM VITAE）（外国人留学生及び外国の学校出身者のみ）
本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/undergraduate/type_3/）より様式（Word ファイル又は PDF ファイル）をダウンロードし、「作成上の注意」に従って、作成してください。

⑦　宛名ラベル（大学送付用）
インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルは、編入学願書等を郵送する封筒に貼付して、使用してください。

注１．必要な場合は、証明書等の追加提出を指示することがあります。
注２．出願書類に係る個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び今後の入学者選抜に係る調査・研究にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。
注３．入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考にのみ使用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人成績を提供します。
注４．３年次編入学試験（推薦）と同時に出願（併願）が可能ですが、それぞれに出願書類、検定料が必要です。

⑵ 検定料

３０，０００円

支払方法はコンビニエンスストア・クレジットカード・銀行 ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

注１． 国費外国人留学生で、奨学金支給期間延長の申請予定者は、検定料の支払いは不要です。その場合、国費外国人留学生であることを証明する書類の提出が必要ですので、出願前に巻末問合せ先に申し出てください。

注２． 出願期間の概ね 1 年以内に大規模な風水害等により被害を受けた人及び平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により被災した人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

⑶ 出願期間及び出願先

① 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）

「簡易書留・速達」郵便等、配達の記録が残る方法により送付し、次の期間に本学に届くことが必要です。

出願期間	**令和 8 年 5 月 7 日（木）から令和 8 年 5 月 13 日（水）（日本時間）**

ただし、出願期間最終日（令和 8 年 5 月 13 日（水））までの消印（日本国内）があるものについては受け付けます。なお、海外から出願を検討している人は、できるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

② 出願先

巻末書類提出先参照

⑷ 障害等のある人への受験上の配慮・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等があり、受験上の配慮を必要とする人は、以下により受験上の配慮申請書を提出してください。

なお、期限後に不慮の事故等により受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにメール・電話等により相談してください。

① 申請期限

原則として、**令和 8 年 4 月 17 日（金）**まで

② 申請方法および提出書類

受験上の配慮申請書（医師の診断書等必要書類添付）を提出してください。詳細は、本学ホームページ（https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html）をご確認ください。

なお、必要な場合は、本学において出願者又は出願者の立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者など）との面談等を行います。

③ 提出先

巻末問合せ先参照

※なお修学上の配慮については、事前にアクセシビリティコミュニケーション支援センターにご相談ください。

問合せ先：csr@jim.kit.ac.jp

参考 URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/

⑸ 出願状況の情報提供

出願状況については、出願期間終了後に学部入試最新情報ページ（巻末問合せ先参照）において公表します。

● 出願についての注意

① 次の場合は、出願書類を受理しません。

ア．インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

イ．出願書類がそろっていない場合

ウ．出願書類の記載が不完全な場合

エ．検定料が支払われていない場合（国費外国人留学生の場合は、国費外国人留学生であることを証明する書類が提出されていない場合）

② インターネット出願システム登録後は、志望課程、プログラム及び応用化学課程においてはコースの志望順位の変更を認めません。

③ 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

ア．検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合

イ．検定料を誤って二重に支払った場合

＊検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

④ 出願書類に虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

⑤ 外国人の方は、入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

ア．出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）の別表第 1 に定める「留学」

イ．上記の「留学」以外の在留資格で、大学入学に支障のない在留資格

4. アドミッションポリシー

学域	課　程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	生物学に関する筆記試験と、専門に関連する学力についての試問を含む面接試験、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 ・生物、化学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に付けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	化学に関する筆記試験と、専門に関連する学力についての試問を含む面接試験、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲 ・化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料さらには生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える幅広い産業分野で活躍する人材の育成を目指します。	数学、専門基礎に関する筆記試験と、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理学や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
	情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支える ICT 分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICT を活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	数学、情報基礎に関する筆記試験 と、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・高等専門学校、大学等における数学、情報工学の基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・専門能力を深めようとする意欲、好奇心
	機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に付けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	数学、専門基礎に関する筆記試験と、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理学や英語などの基礎学力 ・論理的な思考・表現力、観察力、創造力、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学に関する幅広い理解力 ・ものづくりが好きで、自然に対する興味や旺盛な好奇心
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端、地域性と国際性、芸術と科学が同居する京都という地において、デザイン学と建築学を広い概念としての「デザイン」として一つの視野の下にとらえ、自然・都市・建築環境、ものづくり、社会・経済構造、人間・社会関係といった多様な社会問題に対し、デザインによる解決ができる人材の育成を目指します。	数学に関する筆記試験と、専門適性検査、TOEIC による英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生 Tech Program では、上記の各課程のアドミッションポリシーに加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生 Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	各課程が求める基礎学力や専門に関する学力の試験に加え、地域創生 Tech Program 独自の面接試験を行い、求める能力・適性を判定します。	・各課程の「求める能力・適性」に加え、各課程の専門を通して地域創生に貢献するための科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心

５．入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、専門適性検査及び面接の結果等を総合して判定します。

⑴ 試験科目及び配点

課　程	試験科目(配点)		
応用生物学課程	英語(100)　※1 筆記試験は行わない	生物学(100)	面接(100)　※2
応用化学課程		化学(200)	面接(100)　※2
電子システム工学課程		数学(200)	専門基礎(300) (力学、電磁気学、電気回路)
情報工学課程		数学(200)	情報基礎(200)
機械工学課程		数学(200)	専門基礎(300)　※3
デザイン・建築学課程		数学(100)	専門適性検査(200) (論述又は実技から選択)

●地域創生 Tech Program では、上記の試験科目に加えて、全課程で地域創生 Tech Program 独自の面接（配点 50 点）を課します。

※１　英語については、筆記試験に代えて、出願時に提出された TOEIC 個人用公式認定証のスコアにより評価します。スコアの換算方法は、「TOEIC スコア÷9.9」（小数点第２位以下を切り捨て、100 点満点）とします。

※２　面接においては、専門に関連する学力についての試問を含みます。

※３　機械工学課程の専門基礎は、「熱力学の基礎的事項、引張り・圧縮・ねじり、自由振動、ベルヌーイの定理」以上４つの分野から出題します。

⑵　試験日　令和 8 年 6 月 27 日（土）

⑶　試験時間割

<table>
<tr><th>課　程</th><th colspan="4">科　目　・　時　間</th></tr>
<tr><td>応用生物学課程</td><td>生物学
10:00～11:30(90分)</td><td></td><td colspan="2">面接
13:00～</td></tr>
<tr><td>応用化学課程</td><td>化学
10:00～11:30(90分)</td><td></td><td colspan="2">面接
13:00～</td></tr>
<tr><td>電子システム工学課程</td><td rowspan="4">数学
10:00～11:30(90分)</td><td></td><td>専門基礎
13:00～14:30(90分)</td><td></td></tr>
<tr><td>情報工学課程</td><td></td><td>情報基礎
13:00～14:30(90分)</td><td></td></tr>
<tr><td>機械工学課程</td><td></td><td>専門基礎
13:00～14:30(90分)</td><td></td></tr>
<tr><td>デザイン・建築学課程</td><td></td><td colspan="2">専門適性検査
13:00～15:30(150分)</td></tr>
</table>

●上記の試験時間割に加えて地域創生 Tech Program の受験生に課す面接の時間は、志願者数が確定後、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）でお知らせします。

⑷ **試験場**（巻末の試験場への案内参照）

京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地）

≪試験場来場にあたっての注意≫

試験場へは公共交通機関又は徒歩にて来場してください。

公共交通機関を利用する場合は、天候等も考慮し、時間に余裕をもって、早めに移動することを心がけてください。

なお、試験場及びその周辺には駐車、駐輪できる場所はありません。また、自動車、バイク、自転車での来場は、受験生及び近隣住民、本学関係者の通行にかかる安全面への配慮から、保護者等による送迎も含め禁止します。

● **受験についての注意**

① 「試験当日の注意事項」を、本学ホームページ（巻末問合せ先参照）において、試験実施日の1週間前を目途に掲載します。受験生は必ず「試験当日の注意事項」を読んでその指示に従ってください。

② **試験当日は「令和９年度京都工芸繊維大学３年次編入学（一般）受験票」をインターネット出願システムより印刷の上、持参**し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合又は忘れた場合は、試験場本部へ申し出てください。

③ 試験当日の集合時刻は、「試験当日の注意事項」でお知らせします。

④ 試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。

⑤ 指定の科目を１科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

⑥ 試験当日は、「黒鉛筆又はシャープペンシル」と「消しゴム」を持参してください。その他、試験時間中に机の上に置けるものは、受験票に記載しています。

⑦ 試験中は、受験票と監督者の指示するもの以外は机上に置いてはいけません。

⑧ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に試験場本部に申し出てください。

⑩ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われた場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が次の試験時間の遅刻限度 20分を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。

⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。

⑫ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用することはできません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

６．合格者発表

令和８年７月15日（水）16時（予定）に合格者の受験番号を本学ホームページ（巻末問合せ先参照）に掲載します。なお、合格者には合格を通知するとともに入学手続に必要な事項を郵送及び電子データの送付により通知します。

また、個別の試験結果の照会には応じられません。

７．入学手続

合格者は、次の期間に入学手続を行ってください。期日までに入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものとして取扱います。

なお、入学手続時に必要な書類については、郵送及び電子データの送付により通知します。

入学手続期間

令和８年７月21日（火）～令和８年７月27日（月）（17時必着）

８．欠員補充（追加合格）

入学手続完了者が募集人員に満たない学域が生じた場合は、**令和 8 年 7 月 29 日（水）から令和 8 年 7 月 31 日（金）**まで、合格者を追加します。
追加合格者には、電話等でインターネット出願システムに入力された連絡先に連絡して入学意思の確認を行いますので、この期間内は本人と直接連絡できるようにしておいてください。追加合格状況については本学ホームページ（巻末問合せ先参照）で確認してください。

上記期間外に、追加合格がある場合には、対象者に個別に連絡します。

Ⅲ．共通事項

１．入学に要する諸経費

⑴ 入学料及び授業料

① 入学料　　282,000 円
② 授業料　　267,900 円（半期）　535,800 円（年額）

※ １．入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
２．入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
３．授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の 2 期に区分して行います。納入月は、前期は 4 月、後期は 10 月で、それぞれの期において納入する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額です。
４．納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑵ 学生教育研究災害傷害保険料及び付帯賠償責任保険料

2 年間の保険料　　2,430 円（予定）

※ １．その他、必要に応じて納入する諸費用があります。
２．納入方法等の詳細については、合格通知書と併せて案内します。
３．令和 9 年 3 月 31 日（水）17 時までに入学を辞退した場合、入学料以外は返還します。返還の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。

２．編入学後の単位認定について

編入学後は、出身大学、短期大学、高等専門学校又は専修学校等で修得した単位の全部又は一部を本学の卒業要件単位として認定しますが、出身学校における単位の修得状況によっては、認定し得る単位が限定される場合がありますので、このような場合には 3 年次に編入学しても、2 年間で卒業できないことがあります。
また、地域創生 Tech Program では、京都府北部で地域課題解決型学習(PBL, Project Based Learning)やインターンシップに取り組む時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

〈単位認定に関する問合せ先〉
学務課学部教務係　　TEL：075-724-7719、7718　e-mail：edu-2@kit.ac.jp

３．取得できる資格等

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、本学ホームページをご確認ください。なお、地域創生 Tech Program の学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を 3 年次前学期に履修すること、3 年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 学修関係 ＞ 取得できる資格）
URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/capacity/

４．入学料及び授業料の免除

⑴ 入学料免除

「高等教育の修学支援新制度」(「授業料等減免」と「給付型奨学金」) の対象となる人は、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。
令和 7 年度から支援が開始された**多子世帯の入学料無償化**についても「高等教育の修学支援新制度」に含まれます。

「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する入学料免除制度はありません。(外国人留学生を除く)

外国人留学生は、令和 8 年 4 月以降に学資負担者が死亡し、又は入学する本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合

は、願い出により選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。

「高等教育の修学支援新制度」の対象者および外国人留学生について以下の日程により、申請を受け付けます。
仮申請：入学手続時（WEB 入力）
本申請：令和 9 年 3 月（予定）（WEB 入力および申請書類提出）
申請方法は、合格通知書と併せて案内する入学手続書類で確認してください。

⑵ 授業料免除

「高等教育の修学支援新制度」(「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。
令和 7 年度から支援が開始された**多子世帯の授業料無償化**についても「高等教育の修学支援新制度」に含まれます。
「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する授業料免除制度はありません。（外国人留学生を除く）
外国人留学生は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、学期毎の願い出により選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。

令和 9 年度前期分授業料免除の申請方法は、「高等教育の修学支援新制度」の対象者および外国人留学生の在留資格によって次のとおり異なります。

● **令和 9 年度前期分の授業料免除の申請方法（外国人留学生）**

Ⅰ. 在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人のうち、次のいずれかに該当する人

(ⅰ)私費外国人留学生
(ⅱ)出願時には国費外国人留学生であるが、入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定のある人も含まれます。）

入学試験出願時に申請を受け付けます。出願期間後の申請は受け付けません。
申請書類は本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/）よりダウンロードしてください。
免除選考結果通知書は、入学試験の合格通知書と併せて通知します。
なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Ⅱ.「高等教育の修学支援新制度」の対象者および上記Ⅰ以外の在留資格の人

入学手続後に申請を受け付けます。
申請時期：令和 9 年 3 月（予定）（WEB 入力および申請書類提出）
申請方法は、合格通知書と併せて案内する入学手続書類で確認してください。

⑶ 京都工芸繊維大学特待生制度

本学独自の制度として、各年次における学業成績が特に優秀な学生に対し、2、3、4 年次において授業料の半期分を全額免除する特待生制度があります。

⑷ 入学料徴収猶予・授業料徴収猶予

経済的理由により、納入期限までに入学料・授業料の納入が困難である人は、願い出により選考のうえ、徴収が猶予される制度があります。

５．奨学金制度

⑴ 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 奨学金 ＞ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/jassoscholarship/

⑵ その他の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。採用数は限られますが、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

また、地域創生 Tech Program では、卒業後に京都府北部の地元企業への就職を希望する人を対象とする奨学金も予定されています。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 奨学金 ＞ 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/scholarship/minkanscholarship/

※大学から各団体へ推薦を行う奨学金については、学内の選考スケジュール上、各団体のホームページ等に掲載されている締め切りよりも早期に学内申請期限を設定していますので、**必ず上記の URL に記載の情報を確認してください**。

また、多くの奨学金は４月初旬が申請期限となります。新入生向けの奨学金に応募される場合には、入学式前後が申請期限となりますので、あらかじめ申請に必要な書類等の準備を行うとともに、**申請期限を見落とすことが無いように特に注意してください**。

６．アルバイト紹介

本学では、アルバイトを行う必要のある学生の皆さんに、入学後、京都工芸繊維大学アルバイト紹介システムによりアルバイトを紹介しています。パソコンやスマートフォンからアルバイト求人情報を閲覧できます。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ アルバイトの紹介）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/work/

７．学習用ノートパソコンの必携について

本学の教育プログラムは、教育の DX 化を推進する観点から学生がノートパソコンを利用できることを前提として実施されます。入学後は、授業等でノートパソコンを利用する機会が多くなりますので、各自でノートパソコンを準備していただくことになります。ノートパソコンの推奨仕様については、入学案内に記載しますので、必ず確認の上準備するようにしてください。

学内ではインターネットを無償で利用できます。自宅や下宿・アパート等でインターネットを利用する場合は、各自でインターネット環境を準備してください。

◇本学ホームページ（トップページ ＞学生生活 ＞学修関係 ＞ノートパソコンの必携について）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/notepc/

８．住まい

⑴ 松ヶ崎学生館

松ヶ崎学生館は、本学学生及び提携大学の留学生等の居住用施設として、松ヶ崎キャンパス西隣に設置された学生向け住居です。松ヶ崎学生館は、本学の協力のもと、株式会社ジェイ・エス・ビーにより管理・運営されています。

同館への入居をご希望の方は、同社関連の UniLife 松ヶ崎北山通店（以下参照）までお問合わせください。なお、同店舗では松ヶ崎学生館以外の住まいも取り扱っています。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 住まい）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/

◇松ヶ崎学生館（UniLife ホームページ内）：https://unilife.co.jp/view/10846/

◇UniLife 松ヶ崎北山通店〔フリーダイヤル 0120-001-242〕

店舗 URL：https://unilife.co.jp/link/univ_kit

⑵ 留学生用宿舎

留学生等の宿舎については、本学ホームページをご確認ください。

◇本学ホームページ(JP)
（トップページ ＞ 国際交流 ＞ 本学への留学 ＞ 本学への留学を希望する方 ＞ 住居）
URL：https://www.kit.ac.jp/international_index/prospective_student/

◇本学ホームページ(EN)
（トップページ ＞ Prospective Students ＞ More Info ＞ Housing & Accommodations）
URL：https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/

留学生用宿舎の入居については、本学における教育研究の期間が 1 年以下の留学生が優先となります。

⑶ その他の住まい

ワンルームマンション、アパート等の物件に関する情報は、株式会社学生情報センター京都今出川店（本学業務委託業者）にお問合せください。

◇本学ホームページ（トップページ > 学生生活 > 生活支援 > 住まい）
URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/

◇株式会社学生情報センター京都今出川店〔フリーダイヤル 0120-356-546〕
店舗 URL：https://749.jp/school/kit/1/

９．学部・学域・課程紹介

本学では、学部・学科制にとらわれないプログラム中心の教育運営を行うために、学域、課程を設置しています。
工芸科学部及び各学域、課程の内容は本学ホームページをご確認ください。
また応用化学課程ホームページでは、4 つのコースについて紹介をしていますので、応用化学課程志望の方はご確認ください。

◇本学ホームページ（トップページ > 学部・大学院・センター > 工芸科学部）
URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/

◇応用化学課程ホームページ
URL：https://www.applchem.kit.ac.jp/

10. 地域創生 Tech Program について

地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、**入学から 3 年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパス**で開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3 年次後学期には京都府北部を拠点として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

※入学試験の試験場は、京都市の松ヶ崎キャンパスです。

※単位の修得状況によっては、京都府北部で地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップに取り組む時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

11. 過去の３年次編入学試験実施状況

工芸科学部で実施した入学者選抜の実施状況を、ホームページに掲載しております。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 入試情報 ＞ 学部入試 ＞ 過去の入試データ（倍率等））

URL：https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/past-s/

出願様式

【推薦選抜】
・推薦書

【一般選抜】
・履歴書（外国人留学生及び外国の学校出身者のみ作成）

作　成　上　の　注　意

１．受験番号はインターネット出願システムより付番されたものを記入してください。

２．様式を手書きする場合、黒のボールペンかサインペンを用いて鮮明に記入し、漢字は楷書で、数字は読み違えのおそれのないよう明確に記入してください。
間違って記入した場合は、二線抹消し、その上に正しい文字を記入するなど、明確な方法で訂正してください。訂正印は必要ありません。

３．様式を文書作成ソフト等で作成する場合には、Microsoft Word を使用してください。フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、11 ポイント以上の文字サイズで作成してください。A4 縦長で作成し、余白を広げたり、狭くしたりしないでください。

４．履歴書が複数ページにわたる場合には、各ページの右上に必ず受験番号を記入してください。
履歴書の印刷は、両面印刷、片面印刷どちらでもかまいません。

受験番号	

編入学願書印刷時に付番されている受験番号を記入してください。

推 薦 書

令和　　年　　月　　日

京都工芸繊維大学長　殿

学　校　名

学校長氏名　　印

下記の者は、貴学において大学教育を受けるにふさわしいものと認めますので推薦します。

記

学科等名

学生氏名

推薦理由

＜在学中の学力＞

学　　年	学科定員※	席次
3	人	番
4	人	番

※学科定員は、現員ではなく、入学定員を記入してください。

１枚におさまるように作成してください。

受験番号	

入学願書印刷時に付番されている受験番号を記入してください。

※履歴書は、外国人留学生及び外国の学校出身者のみ作成、提出してください。

履歴書（CURRICULUM VITAE）

学歴（Educational Background）

１．初等教育（Elementary Education）

学校名（Name of School）	
所在地（Location: City and Country）	
入学年月（Year and Month of Entrance）	年（year）　月（month）
卒業年月（Year and Month of Completion）	年（year）　月（month）
修業年限（Number of Years of Schooling）	年（years）

２．前期中等教育（Lower Secondary Education）

学校名（Name of School）	
所在地（Location: City and Country）	
入学年月（Year and Month of Entrance）	年（year）　月（month）
卒業年月（Year and Month of Completion）	年（year）　月（month）
修業年限（Number of Years of Schooling）	年（years）

３．後期中等教育（Upper Secondary Education）

学校名（Name of School）	
所在地（Location: City and Country）	
入学年月（Year and Month of Entrance）	年（year）　月（month）
卒業年月（Year and Month of Completion）	年（year）　月（month）
修業年限（Number of Years of Schooling）	年（years）

４．高等教育（Higher Education）

学校名（Name of School）	
所在地（Location: City and Country）	
入学年月（Year and Month of Entrance）	年（year）　月（month）
卒業年月（Year and Month of Completion）	年（year）　月（month）
修業年限（Number of Years of Schooling）	年（years）
学位・資格（Diploma or Degree Awarded）	
専攻科目（Major Subject）	

受験番号	

入学願書印刷時に付番されている受験番号を記入してください。

５．通算した全学校教育修学年数（Total Number of Years of Schooling Mentioned Above）

年（years）

（注）入力欄がたりない場合には、表をコピーし、作成してください。

(Note) If there is no entry field, copy and create the table.

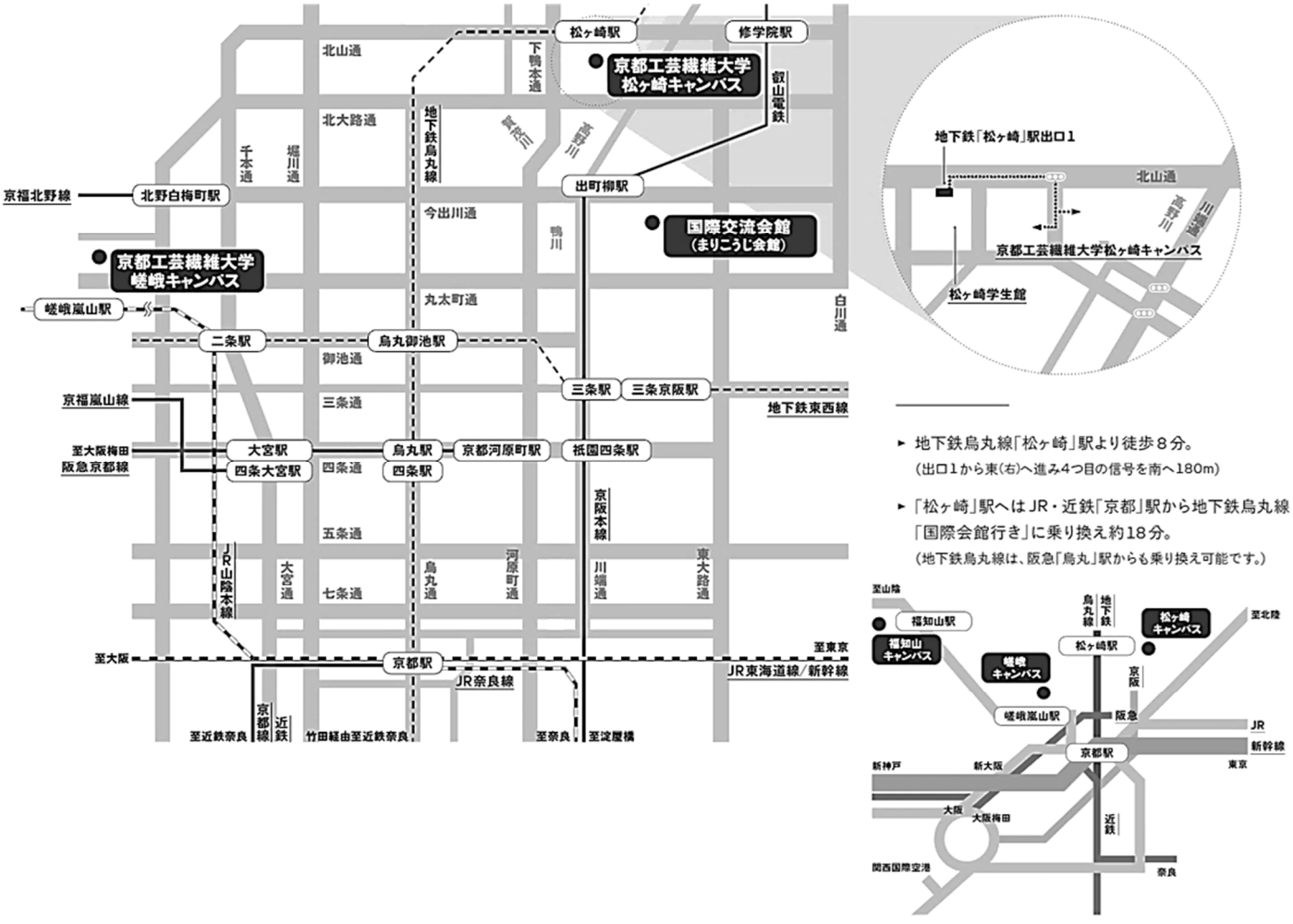
試験場（京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス）への案内

■京都駅からお越しの場合
京都市営地下鉄烏丸線の乗換え、「京都」駅より「国際会館」行きに乗車

■阪急「烏丸」駅からお越しの場合
京都市営地下鉄烏丸線に乗換え、「四条」駅より「国際会館」行きに乗車

■京阪「三条」駅からお越しの場合
京都市営地下鉄東西線に乗換え、「三条京阪」駅より「太秦天神川」行きに乗車、
「烏丸御池」駅で京都市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗換え

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅から徒歩８分
（「出口１」から東（右）へ進み４つ目の信号を南へ180m）



◇◆一般選抜の出願要件◆◇

令和 6 年 5 月から令和 8 年 4 月実施までの TOEIC Listening & Reading 公開テストを受験していること

※カレッジ TOEIC 等の団体特別受験制度(IP テスト)は対象外です。

京都工芸繊維大学
令和９年度　３年次編入学試験　実施日程

	推　　薦	一　　般
出 願 期 間	令和 8 年 5 月 7 日(木)～5 月 13 日(水)	
試験実施日	6 月 6 日(土)	6 月 27 日(土)
合 格 発 表	6 月 17 日(水)16 時(予定)	7 月 15 日(水)16 時(予定)
入学手続期間	7 月 21 日(火)～7 月 27 日(月)	
追 加 合 格	―――――	7 月 29 日(水)～7 月 31 日(金) ※欠員が生じた場合のみ

本学ホームページ一覧

○大学ホームページ:
https://www.kit.ac.jp/
（入試に関する新着情報は、トップページ下部の「Admissions」よりご確認ください。）

○学部入試最新情報ページ:
https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php
工繊　学部入試最新情報　検索

発行年月　令和 8 年 2 月

問合せ先・書類提出先
京都工芸繊維大学　入試課学部入試係
〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 番地
TEL: 075-724-7164　FAX: 075-724-7160
e-mail: nyushi@kit.ac.jp

電話での問合せは、月～金（祝日及び 8 月 12 日～14 日は除く）の 9 時～17 時に受け付けます。

© 2026 Kyoto Institute of Technology